

A β 抗体薬：町田市の現状

脳神経まちだクリニック
糟谷英俊

A β 抗体薬：新しい治療薬

レカネマブ（レケンビ） 2023年12月13日承認 エーザイ

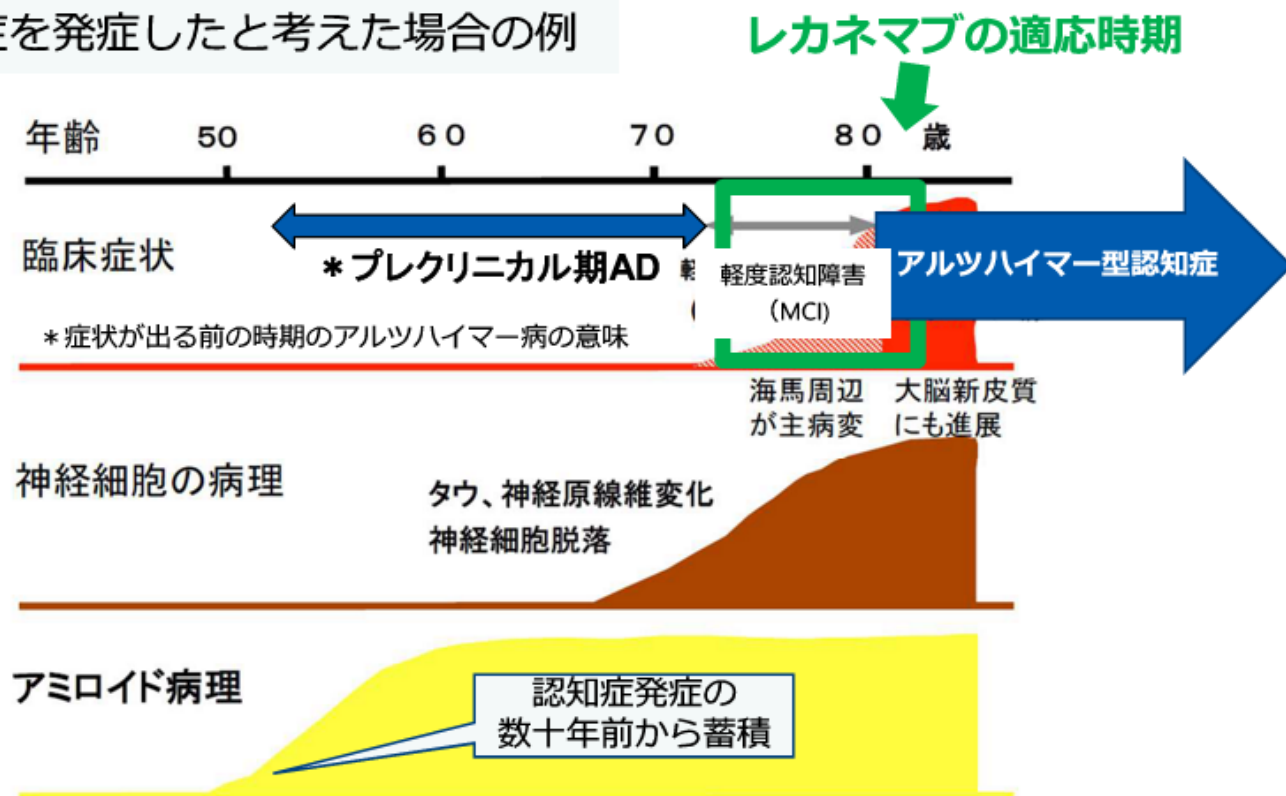
ドナネマブ（ケサンラ） 2024年9月24日承認 イーライリリー

- MCIあるいは軽症の認知症
- アミロイドPETまたは髄液検査でアミロイド β を確認することが条件
- 基準を満たした病院（認知症疾患医療センターか、連携をとれる施設）
- 2週間に1回あるいは1か月に1回点滴静脈投与
- 治療期間は約1年半（半年以降はクリニックでも可能）
- 現在も多数の薬剤が開発されている

アルツハイマー病 と レカネマブ

2023年9月27日
第1回認知症と向き合う
「幸齢社会」実現会議資料

80歳で認知症を発症したと考えた場合の例



- 注：・ レカネマブの使用には、専門的な知識を持つ医師による診断、認知機能の検査、脳にアミロイドが蓄積していることの確認（検査）、当該医療機関で副作用を管理できる体制等が必要。
- ・ 適応時期は限定的なため、適切な説明が行われるよう啓発が必要。
 - ・ アルツハイマー病でも適応外の時期の人や、アルツハイマー病以外の認知症の人への配慮が必要。

東京大学岩坪威教授作成に了解を得て一部加筆修正

レカネマブ（レケンビ®点滴静注）治療までの手順

対応する医療機関

① 鑑別診断・各種検査

アルツハイマー病によるMCI（軽度認知障害）もしくは軽度認知症であるかを、確認します。

- 内科疾患、精神疾患、脳腫瘍の除外など
- 軽度認知障害（MCI）・軽度認知症かどうか
- アルツハイマー病らしいかどうか

② MCIもしくは軽度認知症であり、 原因としてアルツハイマー病が疑われる

③ レケンビ®投与のための検査

投与対象であるかを様々な検査により確認します。

- レケンビ®投与禁忌に該当していないか
- 認知機能の低下及び臨床症状の程度が適用範囲かどうか
- アルツハイマー病による認知機能低下かどうか（アミロイド病理の有無）

【必要な検査】・MRI
・神経心理検査 CDR/MMSE
・※アミロイドPET/※脳脊髄液検査

投与対象と判定

レケンビ®投与

かかりつけ医

認知症サポート医

認知症疾患医療センター

①の検査と診断は、かかりつけ医や認知症サポート医、認知症疾患医療センター、初回投与機関以外の等の専門外来で実施

初回投与医療機関

③の検査のうちMRI・神経心理検査は、初回投与医療機関での実施が必須
（※の検査は初回投与医療機関と連携している施設での実施も可）

A β 抗体薬：診断と治療

1. バイオマーカーを用いた診断

- ・ PET検査
- ・ 髄液検査

2. A β 抗体薬の使用

- ・ 初期導入可能施設：副作用管理が必要なA β 抗体薬初回から6か月まで
- ・ 6か月以降のフォローアップ投与可能施設：開始6か月以降のA β 抗体薬投与

PET検査：東京都23区以外

病院名	所在地
東京西徳洲会病院	昭島市
国立精神・神経医療研究センター	小平市
杏林大学医学部付属病院	三鷹市
武蔵村山病院画像診断・PETセンター	武蔵村山市

アミロイドPET 12500点

PET検査：神奈川県 町田市周辺

病院名	所在地
新百合ヶ丘総合病院*	川崎市麻生区
聖マリアンナ医科大学	川崎市宮前区
総合相模更生病院*#	相模原市

*初期導入可能施設

#認知症疾患医療センター

髄液検査

- 比較的安価 317点（腰椎穿刺） 1282点（検査料）
- 多くの施設で可能

南多摩エリアの認知症疾患医療センター A β 抗体薬は使用できない

- 町田市 鶴川サナトリウム病院
- 多摩市 桜ヶ丘記念病院
- 稲城市 稲城台病院
- 日野市 多摩平の森の病院
- 八王子市 平川病院

東京都23区以外 初期導入可能施設

東京医科大学八王子医療センター 八王子市

国家公務員共済組合連合会 立川病院 立川市

独立行政法人国立病院機構災害医療センター 立川市

武蔵野赤十字病院 武蔵野市

杏林大学医学部付属病院 三鷹市

地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立神経病院 府中市

地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター 東村山市

東京慈恵会医科大学附属第三病院 狛江市

社会医療法人財団 大和会 東大和病院 東大和市

公益財団法人 結核予防会 複十字病院 清瀬市

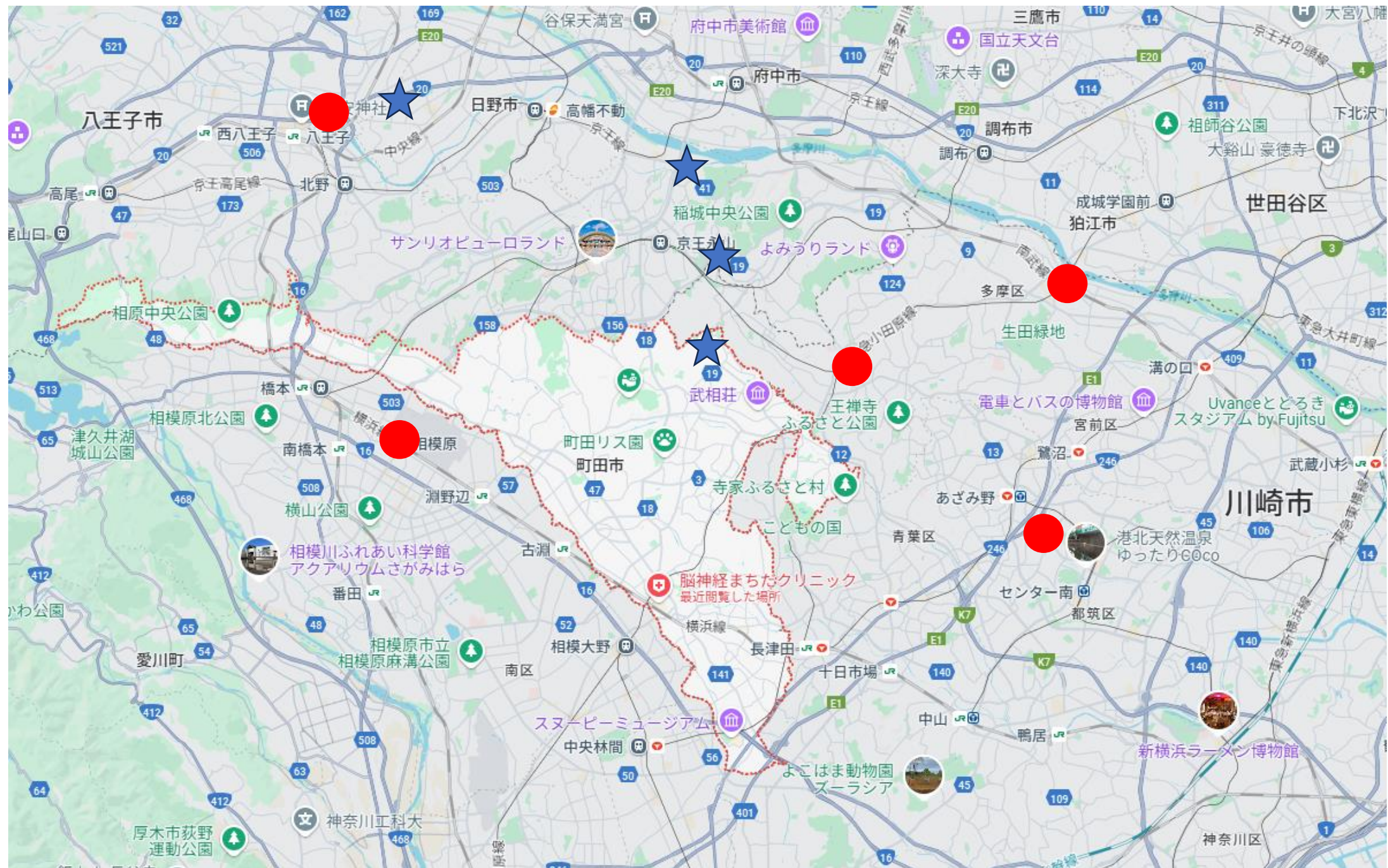
独立行政法人国立病院機構東京病院 清瀬市

社会医療法人財団 大和会 武蔵村山病院 武蔵村山市

初期導入可能施設 神奈川県 町田市周辺

- 医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院*
- 総合相模更生病院（認知症疾患医療センター）*
- 横浜新都市脳神経外科病院
- 川崎市立多摩病院

*PET検査可能施設



結論

- アルツハイマー病の原因を取り除く A β 抗体薬が2剤認可された。
- A β 抗体薬使用にあたっては、PET検査あるいは髄液検査を行って確定診断する必要がある。
- 治療は2週間あるいは1か月に1回の点滴静注を1年半行う。初めの半年は副作用のため初期導入施設で、以降はクリニックでも可能である。
- 町田市には診断できる施設は少なく、初期導入可能施設はない。
- 近隣の初期導入可能施設として神奈川県内の2施設がある。